

関係学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 大牧 稔
栃木県高体連柔道専門部長 角田 正史

令和 7（2025）年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選の開催について

標記大会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、貴校関係生徒・職員等の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 2 共 催 栃木県柔道連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和 7 年 6 月 1 5 日（日）開場 8：0 0 男女個人試合 審判監督会議 9：3 0 予定
令和 7 年 6 月 2 2 日（日）開場 8：0 0 男女団体試合 審判監督会議 9：3 0 予定
- 5 会 場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 栃木県宇都宮市西川田 4-1-1 TEL028-684-2200）
- 6 競技規則（1）競技は国際柔道連盟試合審判規定（最新版）並びに、全国高等学校体育連盟柔道専門部及び栃木県高等学校体育連盟柔道専門部申し合わせ事項により行う。
（2）団体試合及び個人試合男女ともにトーナメント方式とする。
（3）試合時間は男子準々決勝、女子準決勝から 4 分、それ以外は 3 分とする。延長戦（ゴールデンスコア：以下 GS）は時間制限を設けない。
（4）優勢勝ちの判定基準について
①団体試合は、「有効」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手をその対戦に出場した選手から任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は延長戦（GS）により勝敗を決する。延長戦（GS）における優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。「技の内容」と「指導」の重みは、【一本＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】とする。「僅差」は指導差 2 とする。
②個人試合は、「有効」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「有効」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。「僅差」は指導差 2 とする。
③団体試合の代表戦及び個人試合において、反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットし、延長戦（GS）において勝敗を決する。延長戦（GS）で反則累積による「両者反則負け」になった場合はスコアをリセットして再度延長戦（GS）を行い、必ず勝敗を決する。
（5）団体試合における勝敗の決定について
①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
②①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
③②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
④③で同等の場合は、「有効」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
⑤④で同等の場合は代表戦を行う。代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
（6）団体試合、個人試合ともに順位決定戦は行わない。
（7）その他不測の事態が生じた場合には、全国高等学校総合体育大会柔道競技大会の要項に準じて行う。
（8）男女団体試合優勝校及び男女個人試合優勝者は「令和 7 年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会」の出場権を得る。
- 7 参加資格（1）選手は学校教育法第 1 条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
及び制限（2）栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、
（公財）全日本柔道連盟に令和 7（2025）年度登録している者。
（3）平成 1 8 年 4 月 2 日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
（4）転校後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、栃木県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
（5）外国人留学生は卒業を目的として入学していること。短期留学の者の参加は認めない。
（6）参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長の承認を得ること。

(7) 団体試合について

【男 子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チームの人員については、監督1名、選手5名、補欠1名の計7名とする。ただし、選手は3名から5名でもよい。なお、3名から4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。

【女 子】

- ① 1校1チームの参加とし、全・定・通の混成は認めない。
- ② チームの人員については、監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。ただし、選手は2名でもよい。なお、2名の場合は後ろ詰め（先鋒を空ける）とする。また、試合当日に2名になった場合は空位とするが、2名同士の対戦となった場合は後ろ詰めとし、3名との対戦となった場合は元に戻る。

【共 通】

- ① 参加申込後の選手の変更は、大会当日の審判監督会議までに校長の証明書を添えて申し出た者のみ認める。男子2名、女子2名を上限とする。ただし、感染症やその他天災等による場合は、人数の上限を設けない。
- ② エントリー数以下で試合をした場合は、以降の試合もその人数以下で試合をする。
- ③ 同年度栃木県高等学校総合体育大会兼関東高等学校柔道大会栃木県予選会において男子ベスト8、女子ベスト4のチームをシードする。
- ④ 外国人留学生のチーム人員は、男女ともに1名以内とする。
- ⑤ 選手が男子3名、女子2名に満たない学校は合同チームでの参加を推奨する。ただし、勝ち上がりは無しとする。

(8) 個人試合について

【男 子】

- ① 体重区分は次の7階級とする。
(60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級・90kg 級・100kg 級・100kg 超級)
- ② エントリーは1校4名までとする。ただし、前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会(60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級)と前年度栃木県高等学校新人柔道大会(90kg 級・100kg 級・100kg 超級)におけるベスト4の選手を同階級でシードとし、1位と2位の選手は同階級で別枠の出場を可とする。

【女 子】

- ① 体重区分は次の7階級とする。
(48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級)
- ② エントリーに制限は設けない。ただし、前年度全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会(48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級)と前年度栃木県高等学校新人柔道大会(70kg 級・78kg 級・78kg 超級)におけるベスト4の選手を同階級でシードとする。

【共 通】

- ① 選手の変更は組合せ抽選の前日までに専門委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。
- ② 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

8 引 率 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第七十八条の二に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委託する場合は栃木県高等学校体育連盟に事前に届け出る。

9 計 量 (1) 本計量 : 6月15日(日) 8:50～9:20 (変更がある場合は放送で周知する)
※予備計量 8:30～8:50
(2) 本計量は2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。
(3) 計量時の服装については、原則として男子は短パン（またはスパッツ）のみ、女子は上衣がTシャツで下衣が短パン（またはスパッツ）とする。

10 参加申込 (1) 申込み方法及び申込先

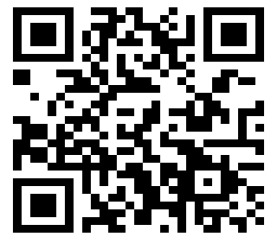
- ① 栃高体連柔道専門部ホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードしてデータを入力し、プリンターで印刷したものを郵送又はPDFをメールで送信する。校長及び顧問印の無いものは受け付けない。
〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曽町 606
栃木県立宇都宮北高等学校 市川敦敏 宛て郵送又はメール※FAX 及び使送不可
ichikawa-a01@tochigi-edu.ed.jp
- ② データを入力した申込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付して送信すること。
hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp 栃木県立烏山高等学校 平野聖 宛て

(2) 申込締切 **令和7年6月5日(木) 必着**

- ※(1) ①. ②ともに行うこと。
※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。

(3) 不参加は委員長（(1) ①）にメールで伝えること。

- 11 参 加 料 団体試合及び個人試合にそれぞれエントリーをした選手数×600 円（最大 1,200 円）を 6 月 1 5 日の受付で徴収する。個人試合に出場しないチームは 6 月 2 2 日の受付で徴収する。
- 12 組 合 せ 専門委員会の責任抽選によって決定する。抽選結果は 6 月 1 0 日（火）以降に栃高体連柔道専門部ホームページで発表する。
- 13 安全管理 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については「栃木県高等学校体育連盟危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。
- 14 そ の 他 (1) 専門委員会は 6 月 1 0 日（火） 1 3 : 3 0 ~ ユウケイ武道館会議室 1 で開催する。
(2) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
①大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、必ず脳神経外科の診察を受けて出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)を受診すること。
③練習を再開するには、必ず脳神経外科の診察を受けて許可を得ること。
④当該選手の顧問は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(3) 指導者は、皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(4) 指導者は、柔道の安全指導第 6 版（全柔連）、初心者事故防止の徹底事項「6 ヶ月程度の十分な練習期間を設け、受け身や基本動作に成熟し、試合等も攻防に対応できる体力が備わるまでは大会等の対外試合に参加させない」を遵守すること。また、6 ヶ月程度が経過していても、選手の意向をよく確認して、選手の精神的負担をできる限り配慮するとともに、よく相談をしてから参加の有無を判断すること。
(5) 選手は、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（IJF 赤ラベル・赤認証ラベル）と帯（IJF 赤又は青ラベル・赤又は黒認証ラベル）を着用すること。氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用すること。
(6) 団体試合出場校の監督は、試合当日の受付（試合場正面：審判監督会議前まで）で初戦のオーダー表を提出すること。オーダー表の様式は栃高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。
(7) 大会参加には、本人及び保護者の同意を得ること。
(8) 8 : 0 0 開場後、直ちに試合会場の準備を行う。
(9) 肖像権の取り扱いについては「栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に準ずる。
(10) 感染症等の流行状況により、大会内容等が変更となる可能性がある。変更等は栃高体連柔道専門部ホームページ等を活用して周知する。
(11) 選手はケガ等に備えて保険証等を持参すること。
(12) 顧問は、要項の内容を選手及び保護者に周知すること。
(13) 栃高体連柔道専門部ホームページアドレス及び QR コード
【<http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>】
※各種大会に関する情報等を掲載するので確認すること。
※選手及び保護者に周知すること。



栃高体連柔道専門部
委員長 市川 敦敏
栃木県宇都宮北高等学校
TEL 028-663-1311